

次期社会教育計画策定に向けたアンケート実施要領

1 名称 次期社会教育計画策定に向けたアンケート

2 調査目的 現行社会教育計画の評価および見直しにあたって関連団体・個人ニーズ把握

3 調査設計

(1)調査地域 調布布市全域

(2)調査対象 社会教育に関わる各種団体, 個人

(3)送付数 紙面調査票 200 部, 紙面チラシ 240 部, その他データで送付

(4)調査方法 インターネット調査, 社会教育施設での紙面配付・回収

(5)調査期間 令和4年7月5日(火)～19日(火)

(6)調査内容の考え方 策定方針(案)のとおり時点修正という観点で検討する。平成24年度に実施したアンケート結果は活かしつつ, 委員意見をもとに, 新たに考えられる課題の把握に努める。設問数は, 回答しやすいよう, なるべく少なく設定する。

(8)広報

ア 市報7月5日号

イ 市公式ホームページ

ウ 市公式 Twitter

エ 市公式 LINE

エ 依頼団体 平成24年度実施の際の配付先を参考に決定

リーダーグループ, 社会教育関係団体, 学習グループ,

公民館利用登録団体, 健全育成推進地区代表者連絡協議会,

公立学校 PTA 会長, 体育協会正会員, 文化協会, 学校開放運営委員

オ 配付施設 各公民館, 図書館, 郷土博物館, 武者小路実篤記念館,

文化生涯学習課, 市民活動支援センター利用団体, 窓口

4 調査内容

(1)共通項目 平成24年度策定の「調布市社会教育計画」における4つの目標に関する満足度に関する設問とその理由, 社会教育全般への意見

(2)個人対象の設問 利用している社会教育施設はどこか, 利用していない場合その理由, どのようなテーマに興味があるか, どのようなきっかけがあれば団体活動に参加するか,

(3)団体対象の設問 施設利用の有無, 利用している社会教育施設はどこか, 利用していない場合その理由, 団体の活動目的, 団体の活動における課題(構成員の高齢化, 施設が使いづらい, コロナ禍で集まりづらい, IT を活用した活動が難しいなど), これからの地域の課題と社会教育(課題解決のために, 団体として今後取り組む予定のテーマ), 地域の課題解決に取り組む上で支援して欲しいこと

【参考:平成24年度実施団体アンケート】<調査目的>

現行社会教育計画の評価および見直しにあたって関連団体ニーズ把握

<調査設計>

- ①調査地域 :調布布市全域
- ②調査対象:社会教育に関わる各種団体
- ③標本数: 626 団体
- ④調査方法:郵送による配票(一部直接)・回収, 提出のお願い文送付1回
- ⑤調査期間:平成 24 年 7 月 17 日(火)～ 8 月 13 日(月)

<調査内容>

- ①よく利用する施設について
- ②団体の活動及び調布市社会教育行政現状認識について
- ③職員に求める知識・能力について
- ④これからの地域課題と社会教育について
- ⑤まちづくりへの市民参画現状について
- ⑥調布市の社会教育全般について

<回収結果>

- ①発送数:626
- ②有効回収数:486
- ③有効回答率: 77.6%